

1. 件名：「日立造船（株）特定兼用キャスクの型式証明申請（Hitz-P24 型）に関するヒアリング【23】」
2. 日時：令和5年6月2日 10時00分～12時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・・一部TV会議システムによる出席）  
原子力規制庁：  
（新基準適合性審査チーム）  
戸ヶ崎安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官、櫻井安全審査官  
日立造船株式会社：  
脱炭素化事業部 プロセス機器ビジネスユニット 原子力機器事業推進室  
主席技師 他9名※
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. その他  
提出資料：  
資料1-1 特定兼用キャスク型式証明（Hitz-P24 型）ヒアリングコメント管理票  
資料1-2 補足説明資料4-1 4条地震による損傷の防止 地震に対する安全機能維持に関する説明資料  
資料1-3 補足説明資料16-1 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設  
資料1-4 補足説明資料16-4 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 除熱機能に関する説明資料  
資料1-5 補足説明資料16-6 16条 燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する説明資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁の松野です。時間になりましたね、今から日立造船の型式証明のヒアリングを行いたいと思います。本日
0:00:15	これまでのヒアリングでのコメント回答ということで、資料を用意していただきましたので、ちょっと資料に沿って説明をお願いいたします。
0:00:31	日立造船、
0:00:57	それではまずコメントリストの地震のところからご説明させていただきます。
0:01:02	ページ番号が 12 ページのところになります。
0:01:06	コメント内容がですね。
0:01:08	疲労評価に関するご質問の続きになってまして、日本容器に対して、疲労評価が必要なのか必要じゃないのか、必要があるならばどのように評価、
0:01:19	するのかは記載することということで、
0:01:22	こちらにつきましては、前回、
0:01:25	ヒアリングの方で評価の方針を補足説明資料に記載するというふうに口頭回答させていただいたんですけども、こちら補足説明資料の方に組み込みましたので、
0:01:34	補足説明資料の 21 ページの方を、
0:01:39	お願いいたします。
0:01:45	と 21 ページも、21 ページの一番下の行になりますけれども、なお引き続き 24 型における密封容器の疲労評価については、型式指定において金属キャスク構造規格に従って評価を実施することとすると。
0:01:58	いう記載を追記しております。
0:02:03	あと続きまして、
0:02:05	当コメント管理表の 15 ページになります。
0:02:13	ご質問の内容が、
0:02:16	一番下の欄にありますけれども、一体ものとして動く前提のもとにタイロッドの健全性の説明がなされているが、
0:02:23	この前提に締め付け力が必要なのではないかという、
0:02:26	コメントでした。
0:02:28	これに対しまして、前回のヒアリングで、
0:02:33	そして締め付け力は不要ですと。
0:02:35	コメントに対する説明として記載の資料の規制が不十分でしたので、こちらの資料の内容を修正いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:42	その該当箇所が、
0:02:45	別紙、補足説明資料の別紙 2-31 ページになり、
0:03:00	こちらのAとBポツのタイロッドのAと、
0:03:04	ナカの記載の 2 段落目の途中のところですね、なおから始まる場所なんですけれども、
0:03:11	タイロッドが破損しなければ、バスケットプレート間の軸方向変位を拘束する機能は維持されるため、鉛直した地震加速度作用時にタイロッドの比熱継続を、
0:03:22	維持させる必要はないと、いうふうに記載。
0:03:33	表の方に戻りまして、16 ページになります。
0:03:37	コメントの内容が、
0:03:40	タイロッドもビームPもバスケットが一体ものとして動く前提において外力による負荷が生じないということだが、
0:03:48	Pについては別紙 3 のように評価しているが、タイロッドでは行っていない、考え方が整合していないのではないかというコメント。
0:03:58	そして、
0:03:59	ヒアリングでは、
0:04:02	ビーム品の方につきましては、縦置状態のバスケットに対して水平方向に力が作用したときに、キャスク底部鳥羽ステップの摩擦で、
0:04:12	拘束される可能性があるというところで、
0:04:16	鳥居品に対しては、保守的な仮定を設定して、
0:04:20	一体として動く前提の評価の方を記載さしてもらっていました。
0:04:25	一方で、タイロッドの方につきましては、
0:04:28	事故後に拘束する部隊なんですけれども、こちらは、キャスクの中で、その態度が実行後に拘束されるということが評価、想定されないので評価していないというふうに口頭では回答させていただき、
0:04:42	この内容を補足説明資料にも記載した形になります。
0:04:47	修正箇所は補足説明資料の別紙 2-31 ページになり、
0:04:55	31 ページの
0:04:58	bぽつたいロードの 3 行目のところで、
0:05:01	またのところから、
0:05:03	鉛直方向地震加速度が作用した場合には、
0:05:07	タイロッドの締め付け力を維持したまま、バスケットプレートが一体となって浮き上がるという発想があるんですけれども、
0:05:14	ここに注書きをつけて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:17	下の方ですね。
0:05:21	西部側のバスケットプレートが特定兼用キャスクの底板に拘束されることは想定されないため、
0:05:27	バスケットプレートが一体となって運動することを確認するためのタイロッドの強度評価は不要であるというふうに、
0:05:37	コメント管理表の
0:05:40	ページ番号が
0:05:42	7 ページになります。
0:05:44	コメントNo.
0:05:48	内容が、ビーマップ、
0:05:51	どこに記載する、どこ
0:06:11	1000 資料 16-1 ですね、燃料体等の取
0:06:15	取扱施設及び貯蔵施設の方の、
0:06:21	21 ページ。
0:06:23	ところに、
0:06:27	必須品 4 型の使用ということで、各
0:06:32	部材、
0:06:33	外の材質、仕様としてですね、まず材料名記載してある箇所がありますので、ここにD品とタイロッド。
0:06:42	それぞれ冊数 630 になりますけれども、こちらのウェブ材料名を明記した形で修正しております。
0:06:53	コメント管理表に戻りまして、と同じ 17 ページの江藤コメントNo.88 の 8 番、
0:07:00	コメントの内容が、Dマッピングはバスケットプレートに設けたに直接挿入されるのか。
0:07:06	そうであれば孔の変形についても言及すること。
0:07:09	コメントで、
0:07:11	こちらにつきまして、
0:07:13	補足説明資料の方に、鳥居ピンの穴の方の強度評価を追記いたしました。
0:07:20	こちらは地震のほうの補足説明資料の別紙 3 の 3 ページ、
0:07:35	別紙 3 の 3 ページに鳥居ピン穴の強度評価の項目を設け新しく設けまして、
0:07:42	鳥居ピンの穴側の方には、シアツ応力が生じますので、
0:07:48	鳥居ピン穴に生じる 4 月応力を評価しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:52	そこに生じる4月応力の計算結果は、下の別紙3-1表に記載してあります通り31MPa。
0:08:01	となっておりまして、評価基準値154MPaを下回っておりますので、
0:08:10	必要な今日、挙協働、有していると。
0:08:13	参考としまして、本文中にも記載させていただいたんですけれども、
0:08:19	鳥居ピン穴に生じる応力は、先ほど説明した通り刺殺応力31MPaですけれども、
0:08:28	バスケットプレートの穴沢、つまりバスケットプレート、
0:08:32	の、180度における降伏応力が77MPaですので、
0:08:38	サトウ副応力を下回っているということで、塑性変形も生じないという状態になり
0:08:49	コメント管理表の方に戻りまして、
0:08:53	次が、18ページになります。
0:08:59	コメントNo.91の一番、最初の方の、
0:09:03	床面等で、評価式の面積を示すところはどこかというところで、
0:09:10	視覚的に理解できる図を用いて、説明して欲しいというコメントでした。
0:09:15	こちらに対しまして補足説明資料の方に、先ほどの面積を説明する図を追記いたしましたので、
0:09:24	該当箇所が別紙2の43ページになります。
0:09:32	あ、すみません、失礼しました、別紙2の44ページになります。
0:09:40	44ページのところにですね、スミニクのところから拡大図をちょっと立体的に取り出してまして、
0:09:48	衛藤軸方向長さ、1ミリの
0:09:52	中、形状に対して、この百々さんかっという断面を有し、三角形のスミニクの形になっているんですけれども、そのうちの、
0:10:02	こののど厚と、
0:10:03	当時ここ単位長さ1ミリの
0:10:06	ここの、
0:10:08	ちょうどハッチングしている箇所ですね、ここの原石がA、
0:10:12	というこの箇所が、
0:10:15	関野、
0:10:21	コメント管理表の方に戻りまして、同じく18ページのコメントNo.91の2番になります。
0:10:28	前列水の溶接部は、おそらく体積検査ができないところであるため、それを踏まえてペナルティーをも

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:36	とこちらのコメントに対しまして、
0:10:38	罪責検査を実施しないことを踏まえまして、評価基準値を、
0:10:44	溶接部の継ぎ手効率 0.45 を考慮した値に見直しました。
0:10:48	補足説明資料の別紙 2 の 40、
0:10:53	5 ページ。
0:10:54	45 ページの方を、
0:10:56	お願いいたします。
0:10:59	ちょっと上の方に別紙 2-14 表の中にですね。
0:11:03	評価基準値を記載する、しているところがありまして、
0:11:07	今数字 86MPa、
0:11:10	としております。こちらに注書きをつけておりまして、溶接部の継ぎ手効率 0.45 を考慮した値というふうに、評価基準値を見直しております。
0:11:38	津波のところになります。
0:11:46	こちらの衛藤コメントナンバー109 番になりますけれども、
0:11:50	荷重の作用位置をフランジ側面とした場合が保守的である。
0:11:54	ことの説明はされているかということで、
0:11:57	ちょっと前はですね。
0:12:00	と 23 ページの、
0:12:03	hriに記載してあります 6 月 16 日のサイトウ、Bのところ、
0:12:09	補足説明資料、
0:12:12	2、荷重の作用位置をフランジ側面として場合が保守的であることを追求したというベースでご説明させていただいた
0:12:20	もう。
0:12:21	持ち帰り確認した結果ですね。
0:12:24	この 6 月 16 日の回答の記載が不適切でしたので、
0:12:28	以下の通り、修正いたします。
0:12:31	中身としましては、
0:12:34	補足説明資料 5-1 の、
0:12:37	0 分 0 アノちょうどコメントいただいた資料。
0:12:41	になるんですけれども、こちらの方に、
0:12:44	アノ 1 事務部ぶた密封シール部と一次蓋ボルトに対してはフランジ側面に荷重が作用した場合に最も厳しくなるというふうに記載を、文章言葉で記載はしていたんですけれども、
0:12:56	追加のコメントとしまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:00	えーっとですね、この密封境界がどこなのかとかですねこの評価しているシール部とかV-1、そして加治を与えてフランジ側面、これらの
0:13:11	3ヶ所の位置が、わかるようにずれ追加して欲しいというようなコメントもいただいたので、それを踏まえまして、
0:13:20	それら三つの間、位置関係がわかる図を追記。
0:13:25	さしていただいた。
0:13:26	というのが、確認したところの回答結果になります。
0:13:33	なので津波の方につきましては、
0:13:38	ちょっと前回Revにレベル2の資料でご説明したので、この例文1の修正箇所が明示されてなくてちょっと
0:13:47	説明戸惑ってしまいましたが、
0:13:50	それぞれ三つの位置がわかる図を追加したというところがここの対応の対応の結果になります。
0:13:57	ご説明は以上になります。
0:14:10	しても、
0:14:19	はい。
0:14:52	千野。18 ページ。
0:14:58	今日の多分資料には5-1の資料は多分ないので、
0:15:03	じゃあ今はいい。
0:15:27	そうですか。はい。
0:16:01	はそうです。はい。
0:16:21	これ上から3行目の0分018ページじゃなくていいのかフカワ0で修正した補足説明資料に置いているところがrev2にすればいいんじゃないですか。
0:16:34	下から12355、5行目。
0:16:38	の、
0:16:39	修正した補足説明資料5-1。
0:16:54	3月16の資料だと、もうすでにこの津波の資料でもWeb2なんですけどね。はい。
0:17:02	じゃなくて、その後NO1は資料のレグ。
0:17:06	んと。
0:17:08	市で休む。
0:17:09	どうしてるよってことなのか、ある。
0:17:12	じゃあ、2022年の6月16日のRev1って、もう直してるよってことで、
0:17:19	を意味してるってことですか。ご理解の通り、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:22	じゃあそ誤開資料の時ここ直しといてもらっていいですかね。
0:17:59	日立造船の土岐です。ここで 4516 条のところが一つこだわって、あと、
0:18:06	ですが、一旦
0:18:12	はい質問ありましたらお願いしたいと思いますけども、いかがでしょうか。
0:18:27	いいですか。岡崎さんはあれ。
0:18:58	はい。と、昨日、
0:19:02	規制庁のトガサキです
0:19:06	質問は、15 ページの
0:19:13	真ん中ですね 88-1 の、
0:19:17	赤いところとかその次の、
0:19:20	ページのそのタイロッドのところ、
0:19:24	自主、ある程度補足説明資料だと、四条の
0:19:30	別紙 2-31。
0:19:33	のところの、ちょっと各確認です。
0:19:36	これはだから、タイロッドっていうのは、このブロックを
0:19:42	バラバラにしないように、
0:19:46	上と下でもって一応締め付ける必要はあるんですよね。
0:19:55	運用上ははい。締め付けることを想定しております。
0:19:58	はい。
0:19:59	要はだからこういう締め付け力が、ちゃんと
0:20:06	確保できなくても、
0:20:08	ちゃんとかう一体になって動いたりとか、
0:20:11	カンバラなんないかっていうところを確認するために質問したと思うんですけど、答えとしては、補足説明資料の別紙の 2 の、
0:20:23	31、まず、下方向 2、
0:20:27	移動した場合は、だから、
0:20:30	タイロッドの試食秘密力よりも応力が小さくなる。
0:20:36	ていうのはわかるんですけど、
0:20:38	この今回追加された、はそう大量とか破損しなければバスケットプレート間の軸方向変位を拘束する機能を維持されるため、
0:20:50	鉛直、
0:20:53	進捗した地震加速度、作業時に大量の締め付け力を維持させる必要はないって、
0:21:00	いうところなんですけどこれは、ちょっとここ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:21:03	破損しなければ、
0:21:05	六合公表区を拘束する機能を維持されるっていうのがちょっとよくわかんないんですけど、下の、
0:21:12	下にあれですよ。
0:21:15	そのブロックから下に動くわけ。
0:21:21	わあ、
0:21:27	壊れちゃっても別にタイロッドの機能ってのは必要ないんじゃないですか。
0:21:33	ふうんに対して、
0:21:34	上、
0:21:40	上下に離れようとするときは、
0:21:42	そのタイロッドで事故
0:21:46	プレート間がどんどん広がってバラバラ
0:21:50	という意味で、
0:21:52	それはその次のまた書きなんじゃないですか。
0:21:56	鉛直方向に地震加速度が発生した場合は、浮き上がって一体となって浮き上がるんですよ。はい。
0:22:04	一体となって浮き上がるカラー高締め付け力を維持したままそのまま、一体となって浮き上がりますってこと言ってんですよ。はい。でもその上の部分は下方向ですねだつつぶれる方向ですよ。
0:22:17	あそこがあるからコース潰れるんですよ。それで、締め付け力っていうのはあったとしても緩和される方向に行くかなっていう話があるんですけど、そのなお書きのちょっと追加してちょっと意図がちょっとよくわからなくて、
0:22:30	これはですね。
0:22:32	ほとんど。
0:22:38	もともと隊列。
0:22:40	地震荷重が、
0:22:47	このタイロッドの機能、
0:22:50	の、
0:22:51	へんいう拘束
0:22:57	それに対して、
0:23:03	プレート、
0:23:08	事故、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:17	だからそこがだから、まず下方向については、だから締め付け力っていうのは緩和される方向に行くから、だから別に締め付け力は関係ありませんということ言ってるわけですよ。そうですね。
0:23:29	で、
0:23:30	ただ、だから、タイロッドっていうのは、
0:23:33	じゃ何の機能を果たすかつただ別にした方向については、何の機能もないんじゃないですか。
0:23:40	そうですね、すみません、ちょっとわかんないですけど何かこうだから壊れちゃいけないって書いたんですけど、ここは入れたら何がいけないんですか。
0:23:53	ここ、あれでも壊れ方を心配してるんですがその壊れちゃうと、
0:23:57	何か壊れ方によってはその
0:24:00	横の方にずれちゃったりとか、
0:24:02	何かちょっと一部だけ、挟まって浮き上がってしまうとか、
0:24:06	そそういうことを心配してですね、その辺、
0:24:11	純粋に鉛直した。
0:24:18	は、
0:24:19	正直、
0:24:26	規制庁のトガサキですからこの 15 ページ、質問の 15 ページのは、88-1 の
0:24:36	1、
0:24:37	通して動く前提のもとにタイロッドの健全性の説明がされているがその前提に死滅力は必要ないのではないかという質問に対して、
0:24:45	右で、
0:24:47	親密気力は、
0:24:49	一体ものとして動く前提として締め付け力は不要である。
0:24:56	資料の記載が不十分であるため修正する。
0:24:59	で、タイロッドの締め付け力を維持する必要がないこと等の説明を追記したっていうので、
0:25:09	上の方の、だからタイロッドの、補足説明資料の方の別紙 2-3、31 の、
0:25:16	この
0:25:19	四つ目のパラグラフでも説明されてるんじゃないんですか。
0:25:22	締め付ける化夫婦様っていうのは、
0:25:27	非造成の目的です。
0:25:31	実際にはそうですね最初の鉛直した報告家族の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:57	運用上、
0:25:59	最初にシミズで詰めて、
0:26:09	そのコメントにちょっと、
0:26:13	対応する形でなお書きがあると。
0:26:16	減っても、取れなければ、
0:26:18	落として別にいいんですと。
0:26:20	というような、
0:26:21	1 で書いた。
0:26:23	ちょっと、
0:26:29	記載としては、
0:26:30	誤解を招かれない。
0:26:32	キタニなってる。
0:26:40	締め付けた出力は、
0:26:41	減りました。
0:26:43	ただ宗前掲とか庄司のまず大丈夫です。
0:26:56	減る分には問題ないですっていうのを、このプロジェクトですよ。
0:27:09	規制庁トガサキですけども、もともとちょっとDマッピングが、
0:27:15	あれですねだから共同部材として考慮されてないと思ってたときには、だからこの締め付け力、タイロッドの締め付け力によって、その横の方向のその摩擦ですね。
0:27:27	摩擦力で、小アノ数移動を防いでるのかと思ってたんですけどそうではなくて、李間品というのがあって、
0:27:38	横方向っていうのは、別にあれですよねタイロッドで締め付けなくても、それはちゃんと、用法の移動はない、ないと。
0:27:47	で、縦方向については、だから、
0:27:50	下、下側については別にファイルとかなくてもただイシタニ潰れるだけなんでで示し名付け力もあんま関係ないっていう話で、
0:28:00	上方向というのは全体が全部浮き上がってしまうんで、あそこもタイロッドは必要ないっていうですね。
0:28:07	なそそういう何か、説明と理解したんですけど。
0:28:12	何かその対応とか何か壊れないっていうのがちょっと追加されたんで、
0:28:17	ちょっとそこがわかんなかったのと、あともう1個の16ページのその他答えで、
0:28:24	補足の、別紙2-31の中で加えられたところ、
0:28:29	テーマに拘束されることは想定されないっていうのは、固定、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:35	どういことなんすか底盤底盤に拘束されないという、
0:28:40	別派なあれでしょうね。固定しているものではないんですよ。
0:28:45	ここのちょっと意味がわかんなかったんですけど、
0:29:32	すいません。
0:29:38	遅くて、
0:29:40	部材として何かこう固定してるんじゃないかと拘束。
0:29:44	何か他の
0:29:45	前のものによって拘束されて動かないような状態ではないという表現を一応しているつもりであり、
0:29:51	規制庁のトガサキですそれであれば、
0:29:55	まずだから拘束していないっていうことを書いた方がいいと思うんですよ。固定していないだから、ブロックブロックは、この底盤には、
0:30:06	固定していなくて、そのまま置いてるだけなので受けアノ運営方向には、一体となって浮き上がるわけですよ。その時にだそその他にも、
0:30:16	拘束するような、構造物とかがないとかですね。
0:30:21	それでそれが拘束されることは想定されないということに繋がると思うんですけど、
0:30:27	だからもともとだから拘束してないっていう情報を入れてもらった方がいいんじゃないかと思えますけどどうでしょう。
0:30:35	社長清モテギ
0:30:39	もう少し、
0:30:45	はい、すいませんそれとですね。
0:30:54	これもちょっと確認なんですけど、質問のその 18 ページの 91-1 で、
0:31:02	これは、
0:31:04	43 で、
0:31:08	図を、そうですね
0:31:11	44 ですか。
0:31:13	この図をつけてもらったんですけど。
0:31:16	これ一ちょっと僕、ちょっと想像したのちょっとすれ違ってて、この 3 月、
0:31:23	行く溶接部分というのは、高さ方向で 1 ミリって書いてあるんですけど、
0:31:29	ここの 1 ミリしかあれですか、溶接けてないんですか。
0:31:51	同じページのですね、左側の図のところに、
0:31:56	を立てて
0:32:01	この限月品挿入範囲と書かれてあるこの範囲です。
0:32:06	2 度溶接が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:10	多くありました。規制庁の外崎です。これ米田から縦方向で全部溶接して るんですよね。はい。ここの式の図前の 43 ページのA、
0:32:22	の、熟語単位長さ当たりの面積を表すために、この単位、味ゴコウ単位 長さの、
0:32:31	説明をしているってことですね。
0:32:34	郡。
0:32:35	お礼
0:32:37	わかりますかね。だっていうか、
0:32:39	この次高校にぜ。縦方向に全部溶接があるってというのは、
0:32:44	枠が組むのみの図で表してるんですか。
0:32:49	ここはでも別に
0:32:51	この日は久我久米の図っていうのは何を、
0:32:55	前月比に挿入範囲を言ってる溶接部分をここで表してないですよ。
0:33:01	ここで何か横溶接、上から下までだっていうのを表示することは難しい んですか。
0:33:08	にする。
0:33:09	だからここの、ここの図の目的なんですけど、
0:33:14	タイトルが連日ジンノ解析モデルを応力評価 1、
0:33:20	この
0:33:21	冷熱品がちゃんとモデル化されていますよっていう。
0:33:26	あれですよ
0:33:28	これは地震だから、今日強度ですよ。
0:33:31	そんな時にやっぱり良いよ。溶接部っていう強度に関係するわけですよ ね。
0:33:37	そしたらやっぱり、
0:33:40	縦方向でずっと溶接がありますっていうのを、
0:33:44	わかるようにしてもらった方がいいんじゃないかと思うんですけど。
0:33:48	この左の枠はこの図の中でですね。
0:33:55	はい。はい。
0:33:58	はい。
0:33:59	これだけだと、この 1 ミリ、
0:34:03	1 ミイですしかその溶接しないように見えちゃうんで、
0:34:30	すいません。
0:34:32	それでは別紙 2 の 43 ページの文章の方にも、その全長にわたって溶 接されているという文章を追加するのと、図の方にも、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:42	冷熱の全長が溶接されてるという注釈をつけるようにいたします。
0:34:47	あと、質問の 18 ページの 91 の右で、
0:34:54	あれですよね湯体積検査を実施しないことを踏まえて継ぎ手効率を考慮したって書いてあるんですけどこれ根拠は何かあるんですか。
0:35:05	鉄道線。
0:35:09	この 0.45 のセンター
0:35:11	へと。
0:35:19	PTと。
0:35:26	1 時間 1 でいいとはっきり書いて
0:35:31	それ以外の場合は 0.4。
0:35:40	これでそれは、すいません今の、
0:35:43	補足の
0:35:46	42-44 ページに書いてありますか。
0:35:53	45 ページですか。はい。現状は、その瀬、今、布施大岩が説明した内容を書いておりません。0.45 モリタと書いてません。
0:36:04	規制庁のところするその根拠を変えてもらうことは可能ですか。
0:36:10	狩野です。じゃ、お願い。
0:36:12	SIMMERす。
0:36:15	あとすいませんその次の 19、質問の 19 ページの、
0:36:20	18 ページの下カラー、19 ページの 9 ヶ月のなお書きの説明って、あのさ、先ほどなかったんじゃないかと思うんですけど。
0:36:33	この片面から両燃料側に何か変更したっていう、ちょっと、
0:36:39	どこのことを言ってるのかちょっとよくわかんないんで、
0:36:45	日立造船の南です。
0:36:47	藤。もともととはですね、この
0:36:50	別紙 2 の 45 ページのところ、別紙 2-14 表がありまして、この中の計算条件としまして、
0:37:01	下の段の一番左側ですね、伝熱フィン溶接部の道具の軸方向単位長さ当たりの面積、
0:37:08	このAの数字をですね。
0:37:11	もともと、
0:37:13	210 と記載していて、これは
0:37:17	NPの、
0:37:19	両側に本来は溶接がある。
0:37:22	思う。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:23	内野。
0:37:24	アンゼンガワニ片側だけを考慮して、
0:37:27	210 という数字で計算
0:37:33	業績
0:37:35	ので、
0:37:36	両側のダム。
0:37:39	登壇面積を面積を考慮
0:37:44	これは
0:37:46	江藤、引き継ぎ、
0:37:48	69 の方と、考え方を合わせて、
0:37:55	規制庁のトガサキそうするとちょっと先ほどのところあれですかその前の 44 ページの、
0:38:01	あれですか他、
0:38:04	縦の方向が、
0:38:06	前は、あれですか 210 だったんすか。
0:38:10	いや、210、
0:38:14	断面積Aが、
0:38:17	田井那須辺りですよ。それを、
0:38:20	あれですか、2-44 ページの、
0:38:25	三角のやつを、三角の面積っていうのを、
0:38:30	これを上のB断面でいうと、下側しか考慮してなかったけど上が上側の部分も考慮したってことですか。はい、おっしゃる通り
0:38:41	じゃそれーなんかわかりますかね。
0:38:46	45 ページのこの数値っていうところで、
0:38:51	何かその両方の溶接部の面積だっていうのは、
0:38:58	この式から見てわかりますか。この、
0:39:00	43 ページとか、
0:39:03	なんかこここれだけ見ると、この 43、44 見ると何か 1ヶ所しか
0:39:09	考慮してないように見えるんですけど。
0:39:14	しました。例えば 42-44 のところにこの上の部分も、丸秘%のなんすか、丸囲って、下の方に矢印つけるとかですね。
0:39:26	あと受注その次の 45 ページのところに、この数値のところに、この両方の
0:39:36	あれですね、溶接部分の面積ですとかって書くか。
0:39:41	ていうのがあった方がわかりやすいと思うんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:47	いたしました図の方には、上側の江藤ツツミ肉のところからも矢印を引く形で、両方同じ形状だというのがわかるようにするのと、
0:39:58	あと別紙 2 の 45 ページの表にも、両側のスミニクの負担面積である旨を追記。
0:40:09	規制庁のトガサキです。すいませんそもそもですね別紙 2 の 43 のこのスズキってというのはこういう、
0:40:16	片側だけじゃなくて、この両側で固定した場合の、
0:40:23	評価もできる式になってるんですか。
0:40:26	はい。
0:40:29	はい。日立造船の南です。ご理解の通りでありまして、
0:40:33	今荷重は軸方向、キャスクの軸方向に作用して、
0:40:38	せん断が生じる形になりますので、
0:40:41	断面積に応じて、
0:40:43	評価できる式はわかりません制上のせん断だから、面積を両方で配備ん分配できるっていう、
0:41:06	あと、ちょっと図面ないんですけどさ、最後の中に 20、24 ページの質問の、
0:41:11	こっちの国の方の、
0:41:15	これ要は、あれでしたっけこの一次密封シール部と一次ボルトルート対しての、
0:41:24	評価をしてたんですけどフランジ側面の方が厳しいから、
0:41:29	そういう表現に直したってことですかそれともその解析自体をやり直しているんですか。
0:41:36	行政のミナミです。こちらにつきましては、評価対象は、我々が選んだものとしては、一次密封シール部と、一次蓋ボルト、
0:41:47	こちらが密封境界を構成する部材に対しては、衛藤。
0:41:52	厳しく評価する場所として選んでる。
0:41:54	ここの部材に対して、
0:41:57	津波荷重がどこに作用すると、この評価対象部位、部材に対して一番厳しいかというのと、
0:42:04	フランジの側面。
0:42:05	ここに荷重が作用すると、厳しいんですけども、
0:42:09	その
0:42:09	密封境界を構成する位置と評価対象としている。
0:42:14	シール部とV、そしてフランジそっ組む梶川と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:42:21	図とかで明示して欲しいという
0:42:28	規制庁トガサキ
0:42:30	評価はじゃん。
0:42:33	評価をしていたということによろしいですか。はいそうです。評価等は書いております。はい、わかりました。以上です。
0:42:45	規制庁松野です。では外部事象のところの質問は以上になりますので、あと残り、
0:42:52	16条の関係の説明は、多分アルミのところは、多分前回の会合の時に提示した補足説明資料から、
0:43:03	それをしっかり取り入れていただいたっていうところによろしいですかね。何かさらに修正した点とかあれば、
0:43:11	その点だけ説明をお願いできればと思いますけども。なければ、説明は省略で構いません。
0:43:17	日立造船の樋口でございます。アルミの件に関しましては、前回から特に変更してるところはございませんので、説明は省略させていただきたいと。
0:43:30	はい。
0:43:31	日立造船茂木です。それでは、コメントリスト、コメント。
0:43:36	管理表の方の65ページをご覧ください。
0:43:40	こちらの方のコメントについて回答させていただきます。
0:43:46	まずコメントNo. 247についてですが、
0:43:50	こちらは補足説明資料の16-1のほうになりますが、
0:43:55	こちらにですね、前回、
0:44:04	こちらに
0:44:06	前回、
0:44:11	を追加してご説明させていただきました。
0:44:14	こちらについては金属キャスク構造規格に基づいて、部材やですねそれ以外の部材ミツイ
0:44:24	て欲しいと。
0:44:27	各部材に対して注釈をつける形で、そちらを明確にしている。
0:44:33	まず注1としましては
0:44:36	金属キャスク構造規格に基づく部材、
0:44:44	注2につきましてはこれが、
0:44:47	該当。
0:44:49	該当になるんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:51	こちら金属キャスク構造規格に規定のない部材であります、同規格の中間胴に基づいて
0:44:59	設計しております。
0:45:01	続きまして中三
0:45:03	で中性子吸収材、樹脂と、
0:45:06	用いてるもの。
0:45:10	国、何かの、
0:45:14	言っているというものではございません。
0:45:16	続きまして、14につきましてはこちら前月比になります。
0:45:21	0ですね。
0:45:26	を担保する
0:45:29	完全に、そこが、
0:45:31	切れてしまうと、そういうようなことになると、伝熱機能の低下がございますので、部材が欠損せず除熱機能が損なわれないことを確認するというので、
0:45:42	特に規定とかには言っていないですが、そのように定めて、
0:45:48	続きまして、15 ですが、こちらはアルミニウム合金のところになります。バスケットのプレートになります。こちらにつきましては、
0:45:58	補足説明資料 1-1、
0:46:00	で説明している、
0:46:03	内容で、
0:46:05	それに、
0:46:06	1-2 でバスケットの基準、
0:46:11	いうところを注釈で追加しています。
0:46:15	後、大変申し訳ございません事前送付させていただいた資料のところですね、バスケットの固定金具、こちらはですねあるBEPU号機ではございませんで、
0:46:24	金属材料です。
0:46:26	注 5 ではなく、注 1 のちょっと大きい
0:46:32	今修正させて、
0:46:36	申し訳ございません。
0:46:37	こちらについては以上になります。
0:46:41	続きましてコメントNo. 24、248 についてです。
0:46:48	こちらの
0:46:50	資料 16-1 の表 2 についてのコメントになります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:54	こちらで、
0:46:56	閉じ込め機能のところ、
0:46:59	に丸をつけてるところ
0:47:01	こういった一部
0:47:07	等で四条五条六条関係のところの評価、
0:47:12	境界部として、一部た密封シール部及び一次蓋ボルト、
0:47:16	を評価していく。
0:47:18	こちらについては
0:47:21	を担当する。
0:47:30	こちらについては、補足説明資料の4-1、地震の方の資料、
0:47:36	をご覧ください。
0:47:39	こちらのですね、19ページと、
0:47:43	21ページの方にですね、
0:47:49	確認内容に対する、このように確認しますというところを、
0:47:54	概要を記載させていただいてる。
0:47:59	19ページの、
0:48:02	3段落目、
0:48:03	五つ
0:48:09	の境界部
0:48:10	括弧、
0:48:16	ここについて、
0:48:24	作成しております。
0:48:29	として、
0:48:36	なります。1 ムタ密封シール部 1Wと評価対象という型式証明の中では、こちらを評価対象として
0:48:45	して、記載しております。
0:48:50	立石正明では各安全機能に対して代表的かつ厳しい部材、もしくは、
0:48:56	実施している。
0:49:05	この後の審査等で実施するものというふうに考えておりました型式指定では、そのように耐評価対象部材を、
0:49:15	重要な
0:49:21	こちらのコメント
0:49:24	続きまして、
0:49:25	コメントNo. 200。
0:49:28	こちらは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:36	こちらは、別紙の 1 の、
0:49:40	22 ページをご覧ください。
0:49:44	前回のヒアリングにおきまして、
0:49:47	形態係数の算出過程というものを補足説明資料に追加することと、
0:49:53	いうことを、
0:49:54	説明することで、
0:49:56	補足説明資料に可能である追加する。
0:50:05	別紙 1 の 22 と 23
0:50:07	に、
0:50:10	ものを追記した
0:50:12	内容につきましては前回のヒアリングでご説明させていただいた内容の通りになります。
0:50:21	いまして、
0:50:23	コメントNo. 250。
0:50:25	になります。
0:50:26	こちらは、
0:50:43	水を抜いてですね真空管
0:50:56	こちらに、
0:50:57	では、
0:50:57	補足説明資料 16-4 の、
0:51:00	別紙 2、
0:51:03	別紙 2 の 1 から 2 の、
0:51:05	3 ページまで
0:51:07	こちらの方に真空、
0:51:16	こちらはですね、さっき一番最初に申しましたように、施設側の条件が、
0:51:22	絡んできますので、これは評価例ということになります。
0:51:26	実際には運用によっても、
0:51:30	別紙 2-2 に示しますように、真空乾燥してちょっと温度が上がりますのでヘリウム置換して、温度をある程度
0:51:38	また真空乾燥するそういう工程を真空管、
0:51:41	こちら辺の、
0:51:46	評価は、真空乾燥 8 時間
0:51:49	重点法 46
0:51:51	評価。
0:51:52	した場合の評価。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:54	ここはもう十分に
0:52:01	そういう条件で評価した結果になります。
0:52:05	評価結果としましては別紙 2-2 に示しますように、
0:52:08	燃料被覆管としましては、231 度、この評価例の場合です。
0:52:15	その履歴というものが、別紙 2-3 のように示してまして、
0:52:19	真空乾燥。
0:52:22	水を抜いてですね、水分、
0:52:25	新規
0:52:26	地区農家キャビティ
0:52:30	その場合は
0:52:31	除熱機能が低下しますので、
0:52:36	ずっとそのままですとどんどん上がってしまう
0:52:39	ヘリウム充填
0:52:41	しまして放置して、
0:52:44	去年、1 回温度、
0:52:47	真空
0:52:48	真空度
0:52:50	所定の水分量が
0:52:54	ヘリウム置換してその町をどう
0:52:57	定常状態
0:52:58	というような例。
0:53:03	こちらに
0:53:05	評価の 1 例ということですが、別紙としてつけさせていただきます。
0:53:12	こちら、以上になります。
0:53:15	で、
0:53:15	こちらのコメン
0:53:18	としてです
0:53:24	実際燃料
0:53:26	少し高めに真空乾燥と、
0:53:37	応力を制限する必要があるため、
0:53:40	地方抗力についても説明すること。
0:53:43	ということで、
0:53:46	コメント
0:53:48	こちらにつきましては、補足説明資料の 16-4 の、
0:53:52	別紙 2、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:17	申し訳ございません。間違いました
0:54:20	ページを、
0:54:24	こちらの方に記載させていただ
0:54:31	て、
0:54:33	こちらの記載はですね
0:54:35	燃料被覆管の経年変化。
0:54:39	対しての記載になります。
0:54:41	で、
0:54:42	今までの記載はですね、
0:54:46	一番右の評価のところポツの一番下に、以上よりというところの記載があるんですが、
0:54:52	基準としましては文献のと、これで基準を決めているところです。
0:54:58	が、
0:55:00	区間の温度が 275 度以下。
0:55:02	かつ周方向力が 100MPa以下。
0:55:06	二つが条件になっており、
0:55:09	これ以下ですという記載をしてたんですが、今回コメントいただいたことも踏まえてですね、実際の貯蔵時の温度、その 1 個上のところ
0:55:18	最高温度が 203 度であり、
0:55:22	燃料被覆管の周方向力、これはですね。
0:55:25	ちょっと
0:55:27	実際軸方向に温度分布がありますので、
0:55:30	実際ここ
0:55:33	73 度全長 230
0:55:36	いや、
0:55:38	そして、
0:55:39	超高齢
0:55:44	この、
0:55:44	実際の条件で計算保守的に計算しても、基準値を満足
0:55:51	です。
0:55:53	注射器、
0:55:57	130
0:56:06	1 例の
0:56:08	231 度、
0:56:11	計算、評価いたしますと、中央抗力が 96。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:20	いうこと。
0:56:33	新規
0:56:38	水素再配向の
0:56:40	機械的性質が落ちると。
0:56:43	は満足している。
0:56:50	いまして、
0:56:51	252 ページの方になります。
0:56:54	こちらは長期健全性の方で、
0:56:56	真空管
0:57:01	キャスクの内部にどれぐらいのページの、
0:57:05	ジャンル。
0:57:07	問題になる許容されるのか、長期健全性の観点
0:57:12	に用いてる文献を示すことと、
0:57:17	こちらは、
0:57:19	今までご説明した真空乾燥の、
0:57:22	関連するんで、
0:57:24	新規
0:57:33	運用の方で、
0:57:37	一方ですね結果については水野残留があった場合でも、キャスクの内部が不活性雰囲気、ヘリウム置換されてるということであるため、腐食による影響なく、水素吸収量も無視できる程度であるため、
0:57:50	長期健全性は問題ないと。
0:57:53	ところで、
0:57:54	こちらの評価に用いた文献は、補足説明資料 16-6 の参考文献 20 には該当する
0:58:01	該当いたします。
0:58:04	また、道内面、そこ行っただ。
0:58:08	キャスク内部ですので胴内面塗装。
0:58:11	一時ムタバケットについては、
0:58:13	水の残留だった。
0:58:15	内部が同じように不活性雰囲気
0:58:17	やはり腐食による影響はなく、
0:58:19	長期健全性は問題ない。
0:58:22	というところを、
0:58:24	この評価を用いた文献は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:26	補足説明資料 16-6 の参考文献 1 になります。
0:58:30	こちら材料が異なりますので、文献となりますが、
0:58:33	この文献でええと、
0:58:35	16 は補足説明書 16。
0:58:41	続きまして最後 253。
0:58:45	のコメントですけど、
0:58:47	こちらはですね、前回のヒアリングのところで取り扱い時のトラニオンと いうかつり上げですね。
0:58:54	評価を追加してご説明させていただきました。
0:58:57	こちらについて、
0:58:59	荷重条件として、鉛直方向 1.3g で評価しておりました。
0:59:04	既存の輸送容器の設計承認等では 3g で評価していると。
0:59:09	いうところもあるので、こちらについて
0:59:12	加速度の設定について説明することというところ
0:59:16	で実際口頭ではクレーン構造規格、
0:59:24	回答も、
0:59:27	首藤施設における取り扱いに、
0:59:29	としてはクレーン構造規格より設定した 1. 三時で評価していることを追 記。
0:59:34	出しました。
0:59:35	こちらは、
0:59:38	補足説。
0:59:41	16-1 の、
0:59:52	米国、
0:59:53	細木
0:59:56	さんの 1 ページ。
0:59:57	の一番下の注釈。
1:00:00	に記載させて
1:00:05	さらにですね、
1:00:08	日立造船としましては硬い照明というところで貯蔵の、
1:00:14	評価ということですので、
1:00:16	今回
1:00:25	正しいですね、兼用キャスクでは、でありますので、
1:00:30	注釈のなお書きで輸送時の吊り上げ時としては、鉛直方向参事の加速 度を考慮して評価されると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:00:39	コメント回答、
1:00:41	16 条関係については以上になります。
1:00:46	はい。規制庁松野です。
1:00:49	ちょっと私から 1 点確認なんですけども、コメントのナンバー252 で、
1:00:55	この水の残留量の回答なんですけども、
1:00:59	先ほど説明では基本的に、
1:01:02	ほとんどない状態。
1:01:04	ここはないと言い切れないんですか。
1:01:15	造成モチギです。
1:01:19	ものはやっぱ、工学的には、
1:01:32	基本的には大体
1:01:34	水分があると。
1:01:36	C9
1:01:37	十分まだ圧力。
1:01:40	下がり切らなくなるんで下がり切ったところまで、
1:01:43	っていうのを、
1:01:44	運用上は基準を決めてですね審判所というのを実施していく。
1:01:53	残る可能性が高いとして、どの部分にそういう残留が残りますか。
1:02:00	ですね実際
1:02:04	我々設計としても、
1:02:08	下の
1:02:09	ツジ者としては
1:02:11	接触。
1:02:13	たまりやすいところ、
1:02:18	そういうものが生じない。
1:02:21	される目にちゃんと香味
1:02:24	いう。
1:02:25	は一応している。
1:02:30	この点は多分、
1:02:32	会合でも多分指摘した点かと思うんですけども、多分バスケットも
1:02:38	特徴的な構造で、やっぱりこう積みかすプレートをこう、
1:02:43	積み重ねていくのにそのプレート間のところで少し残留する可能性もあるのではないかっていうところも多分、
1:02:52	話はされさせていただいたかと思うそこは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:55	工学的には工学的にっていうかそういう隙間とかそういうところは、基本的には残留しない。
1:03:05	どうして考えていいんでしょうか。そこそうですね
1:03:12	長菜月
1:03:17	そういう隙間じゃないところよりはもちろん
1:03:20	乾燥しにくいという
1:03:23	事態になるよ。
1:03:25	になります。
1:03:26	基本的には審査担当できるというふうに考えており、
1:03:33	わかりました。私からは以上ですけども、何か他に。
1:03:38	ありました。
1:04:52	最後に、クレーンのクレーン、構造規格で設定したってあるんですけどこれって、
1:04:58	あれですかねほ
1:05:00	面白い。
1:05:03	オカ他のってなんですけど、原子力発電所のよくある事項、
1:05:08	クレーン、
1:05:10	面取りクレーンとか、ああいうのをこれでやってるって感じなんですかね。
1:05:14	それともう、
1:05:15	貯蔵施設に、
1:05:17	これなんだろうな。
1:05:20	一般的な、
1:05:24	一般的なといいですけど何て言うんですか、ここのこれのオノでやってるあれなのか、原子力発電所の中、例えばSクラスとかを使うような、
1:05:33	つきのクレーンの扱いなんですか
1:05:45	はい。ちょっと発電所のそ
1:05:47	そういうところのすべてまでちょっと把握できてないんですが一般的な重量物を使うと、
1:05:53	クレーン、
1:05:58	で使われて、
1:06:00	これ、
1:06:01	係数も重量と、
1:06:05	決まった。
1:06:07	というような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:10	になり
1:06:16	これのビルとか作る時もそう、これでやってるしてこと。
1:06:22	そういう
1:06:25	それでないと多分、
1:06:30	地中にあるやつになると、くらくらさんってことですよ。
1:06:35	あと金属キャスク構造
1:06:40	どういう荷重を考慮し、
1:06:44	貯蔵施設のつり上げは 1.3g っていうのが一応書い
1:06:59	一応そこは確認は一応、
1:07:09	すいません、貯蔵も別そこを掘り下げるわけじゃないんですけど貯蔵施設っていうのは、
1:07:14	例えば
1:07:16	あれですなのかなって思っ
1:07:20	たりもあるかもしれないですけど、
1:07:23	です。
1:07:27	それと、ここの
1:07:31	発電所の中のなんていう、
1:07:34	ちょっと違うのかなと。
1:07:36	あと、規則がですね、
1:07:39	規則というか、その違うし、
1:07:42	おんなじでいいのか。
1:07:44	持たず。
1:07:51	道を上げるときのクールな話あれなんですよ。
1:07:57	オガワで考えることなんで、実際にはこれ以上の荷重がかかるような施設であれば、型式以上の荷重、
1:08:07	施設側の評価ってのが必要になる。
1:08:13	そうですね。はい。
1:08:39	絶対そうだっていうことではない。
1:08:52	日立造船の樋口ですけれども先ほどのご質問いただきましたクレーンの件なんです、ご存知のように、
1:09:00	構造規格、
1:09:01	創造、労働安全衛生法の方からさらなるもので、基本的には人、人間の安全を、
1:09:08	守るためっていう観点で作られた。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:13	基本的には、これが最低限というか、必要な性能を示しているのだろう。クレーン構造規格でして、
1:09:23	さらにこれより上乗せ向きの厳しい設定があれば、別の何かの規定が入るんですけども、基本的には、すべてのクレーンがこれに倣う。
1:09:33	ていうのが主な考え方になる。
1:09:45	ちょっと順番に確認したいんですけど。
1:09:50	65 ページ質問の 65 ページの 247 番の、
1:09:56	回答の
1:09:59	色の、
1:10:01	16-1 の、
1:10:04	22 ページの表です表についてです。で、
1:10:08	例の、注 3 ですね。
1:10:11	中注 3 のところに、
1:10:14	注 4 のような、部材が欠損せずとか、そうそういうのをが書いてないんですけど、それ書かないというというのは何かあるんですか。
1:11:10	だとする。
1:11:12	むしろそれであれば、14 のところで、
1:11:16	この共同の観点でちゃんと確認するっていう、
1:11:20	のが必要なんだと思うんですけど、だから、ちょっとこの表の安全機能の、
1:11:27	んところで、
1:11:29	その四つの機能書いてありますけどこの機能を担保するために、強度を維持するのか、それとも何かその存在だけでいいのかとか、
1:11:39	嘘それ、
1:11:40	だからもし表してるのであれば、存在の方はどっちかっていうと旧さんの方に、
1:11:47	そこに存在してる
1:11:50	存在してればいいということですよ。
1:11:53	この 14 の方はだから、確認するってのは何を確認するのかがわからないので、
1:11:58	だから強度部材ではないんですけど、
1:12:03	欠損しないことを、
1:12:05	確認するために何か強度を確認すんですか。
1:12:08	うん。
1:12:14	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:20	うん。
1:12:25	うん。
1:12:31	わかりましたじゃちょっとそこら辺、
1:12:34	今ノダと部材が欠損せずというのを、を確認するということになると、多分、下久さんの方も必要になると思うので、
1:12:43	整理されたくなくなってしまうたら、多分、安全機能を果たせなくなると思うので、
1:12:50	だから、そこは強度のことを言ってるのであれば、家中 14 のところは、
1:12:58	ちゃんとそのものが、ちゃんとそこに、
1:13:03	あるっていうこと
1:13:05	強度を確認すると。
1:13:07	ていうのを、
1:13:10	表現してもらった方がいいんじゃないんじゃないかと思います。
1:13:13	で、あとですね、次の、
1:13:15	質問の 65 ページの、
1:13:19	248 番の
1:13:22	型式証明では、
1:13:25	シール部トロール飛ぶってということなんですけど、
1:13:29	これはですね。
1:13:31	4-1 の、
1:13:37	4-1 でいうと、
1:13:40	小令和ちょっと
1:13:43	ガイドとかで、こういう密封境界部とかって言うと思うんですけど、
1:13:49	ここがちょっと今、このガイドの記載とかってありますか
1:13:54	こん中に、
1:13:56	要はその括弧書きのこの下
1:13:59	あれですね、シール部と、
1:14:01	ボードだけでいいって、
1:14:04	書いてましたっけ。
1:14:08	非造成、
1:14:12	どこだって記載がない。
1:14:22	すいませんすいません。
1:14:24	境界部
1:14:25	や用語の定義のところで申しません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:31	とじ込み機能を担保する一時ぶった締め付けボルト及び密封シール部という
1:14:36	用語の定義のところ、はい、じゃあそれぞれそれとに合わせてるってことでいいですか。
1:14:43	そうです。はい。で、いやアノだ。実際は日本境界部って言ったら、その2ヶ所だけじゃなくて、その動態とか、
1:14:52	もう含むと思うんですけど、そうそれはあれですよねちゃんと指定のときには、ちゃんと詳細に評価されるっていう理解でいいんですか。どうぞ。
1:15:03	そこの部分はちょっと。
1:15:06	こちらでは、
1:15:07	照明の
1:15:10	わけ。
1:15:11	米協会、
1:15:14	分けて、
1:15:16	今、
1:15:18	一部、
1:15:21	ミツイ協会
1:15:26	ですから、
1:15:28	ニック境界部
1:15:29	というところが移動で、
1:15:33	提示された結果、
1:15:39	やりたいよな。
1:15:40	いわゆる取り込み境界のところ
1:15:49	あんまり
1:15:53	減っちゃうから、評価
1:15:55	そういうのでちょっと我々がちょっと調べないといけないんですけど、この型式証明の段階は密封境界部だけ、その小指定の次は閉じ込め境界部、
1:16:07	というふうに、
1:16:09	整理っていうことですか。
1:16:16	いう括りではない。
1:16:18	藤用地ということで今日でしょうか。
1:16:25	だから何で型式証明の段階で、そこまでやんなくてもいいのかっていうだから、その型式証明と指定の時に、その定義が変わるのか。
1:16:38	ちょっとずつそう我々もちょっとちゃんと調べてみますけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:00	すいません、1、
1:17:05	とじ込み機能の補足説明資料の方で、蓋から、
1:17:10	同からそこをずっと一周した。
1:17:12	赤い線で表した図に示しましてそこで閉じ込め境界部というのはご説明してるところで、
1:17:18	こちらの、
1:17:19	評価の方は密封境界部が概ね弾性範囲内であるということ。
1:17:25	ところに対して密封境界部に対する要望、
1:17:29	が、
1:17:30	シール部と一部食べる。
1:17:35	として、
1:17:37	オクを記載してるというのが今、立石近江の位置図、
1:17:45	規制庁のトガサキで指定のときにはどういう整理になるんですか。
1:17:50	してる。
1:17:50	キャスク全体。
1:17:52	やはりも詳細にもう少し評価したものをお示しするものに、
1:17:58	どう、
1:18:02	もう出て、
1:18:04	規制庁のトガサキですそれはとじ込み境界部っていうことで評価するんですが、
1:18:10	境界部ってのは同じで、
1:18:12	とじ込み境界部として動態とかを入れて評価をするということです。
1:19:13	全部。
1:19:28	今ちょっと言われ、
1:19:31	いわゆる、
1:19:41	次は
1:19:54	すみません、今ちょっと見たら、密封密封シール。
1:19:59	だから密封境界部とは、
1:20:01	いいですか。
1:20:03	今の書きぶりは、
1:20:05	密封境界部とは閉じ込め機能を担保する一時ぶったシミズ系ボルト及び密封シール部お湯密封シール部とは、フジイムタ動、
1:20:15	または、
1:20:17	ナイトウフランジの密封境界となる金属ガスケットと接する部分という、
1:20:23	て言ってる、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:25	だからここは、
1:20:28	どう、
1:20:30	ちょっと読み方なんですけど、
1:20:32	蓋等はこちら入ってないんですかねこれ。
1:20:38	ろうの、
1:20:40	一品
1:20:43	この接触のガスケットと接触する部分だけを言ってるのか、はい。
1:20:48	東海。
1:20:49	じゃ、福田。
1:20:52	とか胴体部分そのものを、
1:20:55	そのものはシール部って言わないですか。
1:20:57	先ほど言いましたように、この自己評価、
1:21:02	分けて
1:21:05	ちょっとそこが、だからそのシール部って本当にシールのところだけを言ってるのか、その動態とか負担ある部分も含めて言ってるのかっていうのが、
1:21:14	ちょっとう、あれですね、ちょっと今我々でちゃんと
1:21:20	確認しないといけないんで、それによって本当にシールの部分だけを言ってるっていうのであれば、
1:21:27	今おっしゃられた通りなんですけど、
1:21:30	蓋とか導体とかも含んでるんだったら、
1:21:33	そうすると、足りないってことになると思いますので、
1:21:44	くれっと
1:21:54	室さん国、
1:21:58	フィルってのは、
1:22:08	アリマちょっとちょっと確認しますはい。
1:22:11	あとですね、次の、
1:22:16	後すぐに 65 ページの 2 質問のですね、250 番で、まずさっきいろいろ話出たところなんですけど、
1:22:28	200、
1:22:31	52 からですかね。
1:22:35	ちょっと文献とのちょっと関係をもう 1 回確認したいなんですけど。
1:22:41	耳ズーはだから、
1:22:44	すいませんその前にちょっとその真空の、
1:22:47	ちょっとプロセスを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:22:49	教えてもらいたいんですけどそれが、
1:23:00	16 の、
1:23:02	4 でしたっけ。
1:23:06	そうですねはい。もう、別紙 2-2 の、
1:23:14	この工程なんですけど、
1:23:16	この真空乾燥 1 と 2 というのがあるんですけど、それはどどういうふうに分けた。
1:23:30	真空中に患者先ほど言いましたように圧力の低下が収まって、中の水分を十分抜けたと言ったらもう終わりになるんですが、
1:23:36	実際には、
1:23:38	なかなか多分実績上は 8 時間、
1:23:43	チェックしますと、次のページに
1:23:45	足を、
1:23:47	真空乾燥①のところで、
1:23:53	新規
1:24:06	ヘリウム
1:24:07	この貯蔵状態と一緒に状態なんですけど、
1:24:10	冷熱機能が回復します
1:24:18	十分な寄付を求め、
1:24:21	になるようにまた
1:24:23	温度が上がってしま
1:24:25	える。
1:24:33	規制庁のところ、
1:24:35	それじゃ、その回数真空監査の回数っていうのを指定施設とかによっても、
1:24:42	違うって考えていいんですか。そうですね実際にはですね施設によっても違いますし、その装置とかですね、もっと言うと、
1:24:50	発熱量と、
1:24:57	この 1、
1:25:02	規制庁のところ、それでこの真空だからどこまで菌田苑子の真空監査をやるかなんですけど、そこは水分があれですか、なくなるまでやるんですか。
1:25:14	そうですね
1:25:16	ぜひ圧力
1:25:21	地域

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:33	難しい。
1:25:36	その乗客。
1:25:38	例えば室温での蒸気圧ぐらいのところ、
1:25:43	下がり、
1:25:46	どんどんどんどん引いていくと、水が、
1:25:48	なくなるとそこから、
1:25:50	下がってくる。
1:25:52	それを見て、
1:25:55	なるほど。
1:25:55	なくなっただっていう、
1:25:59	真空乾燥
1:26:03	で全体金
1:26:05	で、
1:26:10	真空度が上がって、
1:26:13	自分の情報
1:26:15	済みのほど、
1:26:18	それはもう幾ら真空引きしても
1:26:22	抜けないんで、全体金額、
1:26:34	前日、
1:26:35	なかなかねば、
1:26:39	今度は、
1:26:41	真空引き止めて、ある程度、
1:26:44	なかった。
1:26:45	金クドウ
1:26:47	少しずつは、
1:26:48	上がってくこと上がってるんですけど、その
1:26:52	1、
1:26:57	ませんよっていう
1:27:01	それで、
1:27:06	だろうと。
1:27:11	ちょうどね、
1:27:12	状態にも、
1:27:13	いう。
1:27:15	これは例が、
1:27:19	もうちょっと似たような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:21	どのくらい
1:27:22	時間
1:27:23	真空引きするかってのは今申しましたように、
1:27:30	一概には言えないんですけど、
1:27:32	その
1:27:35	8 時間日勤、
1:27:40	これ。
1:27:45	一応、
1:27:50	真空度なんですけど真空度が、
1:27:52	何%とか、それが基準になってる間、
1:27:58	管理してるのはシンプルさ。
1:28:00	その真空度と水分の関係ってのはわかってるんですか。
1:28:04	直接わかってないです。で、
1:28:07	絶対水分量、
1:28:09	また別の、
1:28:13	さっき
1:28:15	もう一度
1:28:18	特にオンダ、
1:28:25	管理としては、
1:28:27	進行
1:28:30	規制庁のトガサキです。だからさっきも話あったんですけど、この水がだから、嘘。
1:28:38	少しは残ってると思うんですけど、
1:28:41	倉庫そこはもうわからないってことだ、なんすか粗度どれくらい残ってるかっていうのは、
1:28:48	本当にナカにどんだけ残ってるか。
1:28:57	その中で、
1:28:59	大体湿度、どのくらい
1:29:06	不振替である
1:29:10	确实なんで、
1:29:12	実際には、
1:29:19	判定基準、
1:29:23	随分、
1:29:41	すごい。
1:29:43	まず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:45	すぐに
1:29:45	李新野と
1:29:54	いいな。
1:29:55	下
1:29:57	は、
1:29:58	規制庁のトガサキ
1:30:00	を行を聞いたかったんですけど質問の、
1:30:04	252 番の、
1:30:07	回答で、
1:30:11	資料 11 の資料 16-6 の趣旨、資料の
1:30:16	別紙 2 の、
1:30:18	2、
1:30:19	アベシバタ別紙 2 の、
1:30:26	2-5 ですわ。
1:30:28	ここに残留水分が 10%以下の河成平均ある年齢期間の酸化量及び水素吸収量は無視し得るほど小さいという、書いてあってただこれ。
1:30:41	だからその 10%以下であるってことは確認できるってことですか。
1:30:46	はい、わかりました。それって、
1:30:48	あとですわそこ、もう 1 個、その 66 ページの質問者の質問の 66 ページの、
1:30:56	下に、
1:31:00	今度はだから、あれさっきの被覆管ですわね、出荷について 10%が大丈夫だって。
1:31:06	で、どう底盤一時豚バスケットについては水の残留があった場合でも、
1:31:12	深津域であるため不足による影響はなく、長期件数は問題ない、評価に用いた文献は、
1:31:21	文献 1 画素該当するって書いてあるんですけど、
1:31:24	先ほどの
1:31:27	16 の、
1:31:30	6 の、
1:31:31	補足説明資料の別紙。
1:31:34	2-2 でいいですかこれ、一番というのは、
1:31:42	これのどこにそれが書いてあるのかちょっと見つかなかったんですけど。
1:32:19	要は被覆管は大丈夫ですっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:23	もうそういう、
1:32:25	そうで、あとはだから、動態とか測定とかそういう何か隙間に水水が残ってても、
1:32:34	ただ、ヘリウムが、はい。
1:32:36	大丈夫です。
1:32:37	その文献がありますっていうふうに書いてあるんで、その文献が、どうやって、
1:32:59	あくまでも、
1:33:03	一応この
1:33:11	とアルミ、
1:33:17	講師試験、
1:33:24	意見の発信。
1:33:25	その要素ガスの濃度のところで書いてある
1:33:28	試験条件をちょっと、
1:33:31	ちょっと今記憶が曖昧なんです。
1:33:40	今、
1:33:46	今船長、
1:33:48	は、
1:33:59	アはアノウダど、
1:34:03	その該当部分を、
1:34:05	載せてもらった方がいいと思い
1:34:10	私からは以上です。すいませんそれと、ちょっと日本語なんですけど、
1:34:16	その質問の 65 ページの 250 の
1:34:20	7 を気が、
1:34:22	ちょっと何か依存するところがあるためですかねこれ。
1:34:29	以上です。
1:34:38	すいませんあとちょっとついでに、
1:34:40	これ一応さっきのDマッピングとかの話で、
1:34:47	資料が、
1:34:49	どれだっけ。
1:34:52	材料を追加しますっていう。
1:34:56	表があったとも思うんですけど。
1:35:01	後の資料です。
1:35:05	収録の、
1:35:08	収録のうちの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:11	10 番。
1:35:13	それで、リーム品の方は強度部材なので、こうやって、
1:35:18	材料が必要だと思うんだけど、
1:35:21	対応とな、なんで交付追加するんでしたっけ。
1:35:27	パイロットもですね、荷重がかからないんですが、やはりこれはもちろん、
1:35:34	事項コウノ1 偽名の素材、アノ部材ですので、
1:35:38	強度としては、ほとんど荷重はかからないんですけど共同部材、
1:35:46	曾田宇津強度評価やってるんですか。うん。
1:35:49	評価をして荷重かからないと。
1:35:57	評価といいますか、評価は、強度部材として我々認識しているので、評価が必要な部材なんですけれども、荷重のかかり方とか、定性的な説明で、
1:36:09	厳しい評価にならないというのを、定性的に説明資料の方で説明させていただいているという形になる。
1:36:18	ちょっと、
1:36:19	トガサキですけどちょっとやっぱりこのタイロッドの目的がちょっとよくわからないんですけど。
1:36:25	やっぱ一体あれですかバラバラにならないように、
1:36:29	この1体、
1:36:31	気にする。
1:36:32	役割は、あるんですかねまず、
1:36:36	うん。締め付け位置を締め付けるんですよ。だけど評価上は、この地震が来たときとか、上に上がったときは一体、
1:36:45	悪しをアノした。
1:36:48	いう方向に行くんで、その力はかかりません。
1:36:53	主催者ノダからも、固定するための種
1:36:57	強度部材ではある、あるんだけど、地震とかに対する共同部材にはなっていないという、
1:37:04	そそういう理解でいいんですか。
1:37:08	はい。
1:37:10	固定だから、
1:37:12	バラバラにならないように一応固定、固定をすると、するために締め付けるわけですよ。はい。麻生そのための強度部材ではあるんですね多分。はい。だけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:23	地震の荷重で上に上がったりさアノ社に術されたりとかっていう時には、力が別にかからなくてモリアノかかんないんで、
1:37:33	地震のための強度部材にはなってない。
1:37:37	はい。
1:37:42	何か。
1:37:43	わかったようなわかんないよ。
1:37:46	普通の強度部材した時あれですよこれ計算で使うような確認資料のもですよ。そうです。
1:37:55	はい。
1:37:56	わかりました。
1:38:00	私からは以上です。
1:38:13	そうでちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁のマツノです。では録音を再開します。
0:00:05	で、
0:00:07	一応一通り、
0:00:08	コメント回答の説明は終えて、こちらからの確認は以上となりますので、
0:00:14	コメント回答に係るヒアリングはこれで終了したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。